

小学校ってどんなところ？	(2) 小学校との連携・交流
公立保育所	千葉県宮野木保育所
<実施時期>	1月～3月
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」	
<活動のきっかけ>	
<ul style="list-style-type: none"> ・前の年長さんは小学校に遊びに行っていたのに、行けなくて残念。小学校には何があるんだろう？見てみたいという興味がわいていたこと。 ・小学校でわからないことやできないことがあったらどうしよう？先生に怒られちゃうのかな？など、心配している様子がみられたこと。 	
<活動のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のことを知ることで、期待感や安心感を持って就学できるようにする。 	
<経験する内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、小学校の様子を知ったり保育所との違いに気づいたりして興味を持つ。 	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
<p>新型コロナウイルスの感染者が増えている中で、子どもたちと一緒に小学校を訪問（見学）させてもらうことはお互いにリスクが高いと考え、保育士（総括主任保育士）が校内を見学させてもらうことにした。年長児には事前に小学校のどんなところを見てみたいのか聞いておき、そこを中心に写真撮影をしてきた。</p>	
<活動の内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所と小学校のどちらにもあるもの（机やイス等）の大きさの違いに気づけるようにするため、保育所になっている夏みかんを持参し、小学校の机やイス、階段の段差等に置いて写真を撮るようにした。 ・撮影してきた写真は各クラスに掲示し、子どもたちがいつでも見えるようにした。 	

<活動でみられた子どもの姿>	<環境構成・教材や保育者の援助等>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を見て子どもたちが「保育所のミカンがある（写っている）」と興味を示し、保育所の机やいすの大きさに興味を示す姿が見られた。 ・ 就学前健診で行った時のことを思い出しながら「これ、あったよ」「僕の学校にはなかったな」等話したり違いを伝え合ったりする姿が見られた。 ・ 音楽室やコンピューター室、体育館など見たことがない場所にとっても興味を示していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ より子どもたちの中で小学校に関することが話題になったことから、伝え合ったり共有できる場を設けるようにした。 ・ 就学に対して不安を感じている子に対して、保育士自身の子どもの頃の経験を話したりするなど、不安な気持ちが軽減できるよう心掛けた。
<成果と今後の課題>	
<p>・ 小学校の話をするだけでなく視覚的にもアプローチしたことで、子どもたちは小学校がどのような所かイメージすることができたようで、以前よりも就学に対する不安や心配する声が聞かれなくなった。ただ取り組みが遅かったことにより、1か所の小学校しか取り上げることができなかったこと、写真を見たことによって出てきた疑問等を解決する機会をもつことができなかったことが反省である。今後はもっと早い段階から取り組み始められるよう計画し、他の就学予定校も取り上げたり小学校の先生に質問する機会を設けたりするようにし、子どもたちの不安を期待に変え就学を楽しみにできるようにしていきたい。</p>	
<カリキュラムコーディネーターのコメント>	
<p>「小学校のことを知る」ことは、大人が推測することと子どもの知りたいことが異なる可能性もありますので、事前に子どもたちに尋ねた上で小学校の写真を撮影している取り組みは子どもたちの主体性を尊重している活動です。もちろん写真に写っていることは小学校という場所だけではなく、活動も現れており、子どもたちの心配や不安な気持ちを受け止めて寄り添う姿勢が示された取り組みとなっていると思います。</p>	